



多摩交流センターだより

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会



3・4月開催予定の講座案内

169回

題名 外航商船の元船長が話す商船と日本船員・海運の現実

日時 平成30年3月8日(木) 14:30から約1時間
講師 高橋 二郎 氏(海事補佐人、元外航航路船長)

内容 現代日本では、肉や果物などの食料から、電気・ガソリンを作る資源まで商船で運ばれていますが、身近でありながら意外と知られていない島国日本の海上輸送と、船員の仕事や船内生活の実情、船の種類と構造について話します。また、広い海でなぜ船同士が衝突するのかを、適用法から解説し、外国航路商船に日本籍船が急激に減少し、日本人船員がほぼいなくなった実情についても話します。



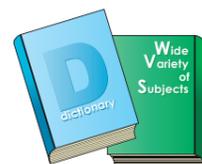
170回

題名 南極大陸内陸を探る 日時 平成30年4月12日(木) 14:30から約1時間
講師 渡邊 興亜 氏(国立極地研究所名誉教授)

- 受講料 無料(ただし資料代100円)
- メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)
- サテライト会場 武蔵野市かたらいの道
- ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先 TEL 070-2648-3520(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

平成30年4月講義案内

(受講料は会員無料・会員外は4月12日を除き、1回500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第1127回	4月5日(木) 14:00から	男の遺言・相続 ～父として夫としてすべきこと～	中野 浩太郎 氏 (行政書士)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)
第1128回 ※	4月12日(木) 14:30から	南極大陸内陸を探る	渡邊 興亜 氏 (国立極地研究所名誉教授)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第1129回	4月19日(木) 14:00から	明治・大正凸凹立体地図で見る東京	内田 宗治 氏 (フリーライター、元実業之日本社ブルーガイド編集長)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)
第1130回	4月26日(木) 14:00から	最近の世界で気になること	河東 哲夫 氏 (newsweek日本版コラムニスト)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

※第1128回は、第170回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

問合せ先 TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原)

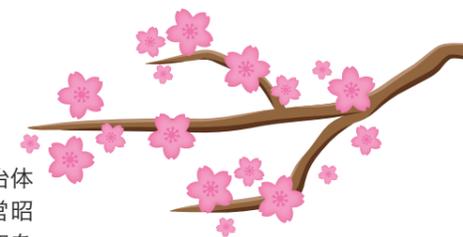
TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ

第113回 武蔵野の至宝「名勝 小金井」桜

【講師】 椎名 豊勝 氏

樹木医として樹木の診断・治療に携わる。都内・多摩各自治体の環境審議会、文化財保護審議会、緑化審議会等委員。国営昭和記念公園・自然観察ツアー講師。特にサクラと雑木林の研究をライフワークとしている。現在、一般社団法人 日本樹木医会会長・東京都支部長。

【内容】 大正13年、国の名勝に指定された「小金井桜」は、小金井市、小平市、西東京市、武蔵野市に跨る玉川上水の延長6kmの両岸に植えられたヤマザクラ並木です。玉川上水は、総延長43kmある羽村の堰から四谷までの上水路です。もちろん百万江戸市民の上水道であり、当時水利の乏しい武蔵野台地は焼畑や牧畜の原野でしたから、玉川上水の分水による新田開発で、幕府に新たな財源の確保が可能となりました。しかし、入植民は困窮しました。幕府はなんとか定住のための施策を展開するのですが、うまくいきません。そこで地方巧者の川崎平右衛門を登用します。そこに生まれたのが小金井桜でした。その軌跡と現状・未来を展望します。



日時 平成30年3月25日(日)
14:00~16:00
場所 多摩交流センター会議室
京王線府中駅北口
府中駅北第2庁舎6階
(府中市寿町1-5-1)
申込方法 当日会場にお越しください。
先着50名までとさせていただきます。
受講料 無料
問合せ先 多摩交流センター内
TAMA市民塾
TEL 042-335-0111

「多摩交流センターだより」の問合せ先

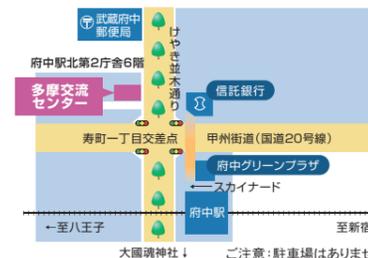
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

- ピョンちゃん
平昌冬季オリンピックも2月下旬で終わり、3月9日から18日までは冬季パラリンピックが開催されます。皆さんも、日本選手団をTVの前で懸命に応援したのではないのでしょうか。いよいよ2年後は2020東京オリンピック・パラリンピックです。
- さて、年度末を控え、なにかと慌ただしく気が急みますが、吹く風には寒さの中にも春が感じられます。これからは三寒四温の言葉どおり徐々に暖かくなり、梅に続き桜が咲き始めます。寒暖の差が大きいため、体調を崩さないよう、気温に合わせて服を選び、上手に体感温度の調節を行うことが大切です。また、あのつらい花粉症が本格化する季節でもあり、体調管理に十分に気を配る必要があります。
- さて、当調査会も来年度の調査研究テーマが決まり、準備を進めています。テーマの概要は来月号でお知らせしますが、今後の自治体経営や地域の発展にとって課題となっている事柄など、将来に向けて考えておくべき大切な視点を含むテーマを選定しています。
- 今後の日本社会にとって、誰もが考える重要な課題は、人口減少を要因とする労働力不足とそれに伴う経済成長力や社会の活力の低下です。
社会の活力を維持するためには、経済活動や地域活動

の担い手を増やす工夫や効率的に業務を進める仕組みが必要です。

- 国の統計では就業者数(昨年11月値)が日本全体で6500万人台となり、過去最高だった約20年前(平成9~10年)のピーク時とほぼ同じレベルとなっています。人口減少が進みつつある現在でも、過去のピーク時と同じ就業者数を維持できているのは、高齢者・女性・外国人の活躍に負うところが大きくなっています。
- そこで来年度の調査研究では、今後の社会の活力を維持するために必要なテーマとして、人口減少対策や生産性の維持向上に資する「結婚支援を糸口とした少子化対策と地域活性化について」、「外国人がいきいきと暮らせる多文化共生について」、「AI社会の到来における基礎自治体について」(いずれも仮題)などに関する調査研究に取り組みます。
- 今上天皇のご退位と皇太子さまのご即位も近づき、来年度は、新たな時代の幕開けに向けて多忙な年となりそうです。
当調査会は、来年度も引き続き、自治体や地域が取り組む、地域づくりのお役に立てるよう活動を行ってまいります。

(M.N)